

高品質コシヒカリ生産のための適期収穫チャート		
[要約] 収穫適期の予測・判定が簡易かつ正確にできる「コシヒカリ適期収穫チャート」を作成した。これにより、収穫の作業計画が立てやすくなるとともに、正確な収穫適期判定が可能となり高品質米の生産につながる。		
農業総合センター農業研究所	成果 区分	普及

1. 背景・ねらい

水稲における早刈りや刈り遅れによる玄米品質の低下を防ぐためには、適期収穫が重要である。そこで「コシヒカリ」の収穫適期を穀粒状態や立毛状況から予測・判定が可能で、生産現場でも使用しやすい適期収穫チャートを作成する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 「コシヒカリ」登熟期間中の形態や籾の状態、玄米品質などを経時的に調査し、「コシヒカリ適期収穫チャート」を作成した(図1)。
- 2) 本チャートは成熟期前後日数別の帯緑籾率、籾水分、検査等級、立毛状況、穀粒写真等から構成され、収穫適期の予測・判定が簡易かつ正確にできる(図1)。
- 4) 収穫適期以降に、黄化籾における「アメ色の籾の割合」および「小枝梗帯緑割合」を新たに判定の目安として取り入れたことで、判定精度を向上できる(図1)。
- 5) バインダー収穫適期の期間は帯緑籾率約25～4%(成熟期前6日～成熟期後3日)、コンバイン収穫適期は帯緑籾率約11～4%(成熟期～成熟期後5日)とし、適期収穫により検査等級1等を得られる。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 本チャートは、農業研究所内(水戸市、表層腐植質多湿黒ボク土)における5月2日移植の「コシヒカリ」、株間16cm、基肥0.4kgN/a、穂肥0.2kg/a(出穂前18日を目安に施用)による。
- 2) 判定にあたっては、圃場の中ほどの中庸な2株(最低1株以上)を採取し、全ての穂をカルトンで脱穀して均質に混合した未調製の籾を用い、判定は黒カルトン上で行う。
- 3) 栽培条件や生育の揃い、作期、降雨等により、成熟期前後日数と出穂後日数、穀粒・立毛状況と玄米品質との関連が必ずしも一致しない場合があるので、判定にあたっては帯緑籾率を調べて総合的に判断する。
- 4) 本チャートは他品種にも適用できるが、成熟期前後日数と出穂後日数が異なることに注意する。

4 . 具体的データ

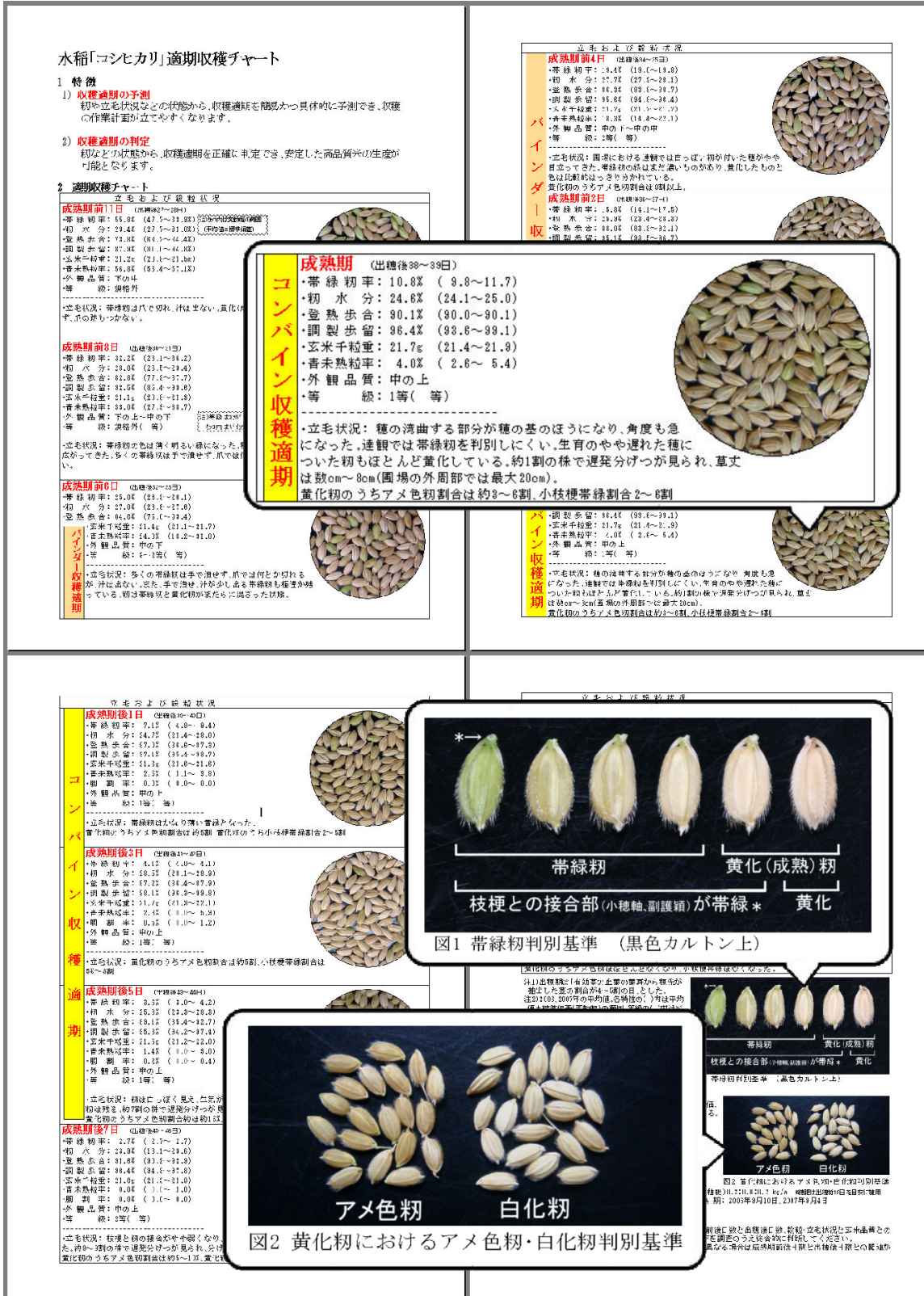


図1 コシヒカリ適期収穫チャート

5 . 試験課題名・試験期間・担当研究室

主要作物の生育診断・平成平成19年度～・作物研究室